

# GLOBAL MIND

GLOBAL MIND IS THE SPIRIT OF OSAKA INTERNATIONAL EDUCATIONAL INSTITUTION



写真上：1日の作業を終え撤収する学生たち 写真下：津波被害にあった漁協の重要書類の汚れを落とし、整理した

「現実の被災地」を前に言葉を使い、ただ必死でがれきりを運び続けた（釜石市）

## 企 画 GLOBAL VISION グローバルビジョン

### 「今は行動するじき」 被災地でボランティア活動する学生たち

東日本大震災の被災地で本学の学生らが、9月から2回に分けてボランティア活動を展開した。「何ができるか分からないが、今は行動するじき」という学生の提案で始まったボランティア派遣について報告する。

学生たちから出された企画書を学内で検討し、ボランティア学生を募集し被災地へ派遣することを決定。8月から募集したボランティア登録学生は117名におよび、第1回派遣（9月3日～7日）では37人、第2回派遣（10月31日～11月5日）では47人、延べ84人の学生が被災地に赴いた。教職員を加えた派遣団は大型バスで1千キロ、約14時間をかけて被災地へ到着。岩手県遠野市災害ボランティアセンター（遠野まごころネット）を拠点とし、毎朝、沿岸部の陸前高田市や釜石市、大槌町に移動して活動を行った。

#### がれき撤去や側溝清掃、干し柿作りも

被災地での活動内容は、一般家屋跡や水産加工場跡のがれき撤去、生活道路の側溝清掃といった「ちから仕事」もあれば、仮設住宅入居者の方々の干し柿作りなど「心のケア」の要素を含んだものもあった。町が壊滅的被害を受けた釜石市箱崎町では、家屋跡地に粉々に散乱している生活用品の撤去作業を担当。泥まみれの子供服や玩具、写真の回収、整理作業も含まれた。全長40メートルもある大型漁船が陸に打ち上げられている大槌町では道路の側溝清掃を担当。黒い土砂をかき出す力作業を黙々と行った。また、「大槌町まごころの郷」では被災された方々の憩いの場となるウッドデッキを作成したりもした。

#### 言葉を失う、そして動き出す

現実の被災地に入った学生たちはみんな言葉を失った。3月11日以来あれだけテレビや新聞で目にしてきた被災地とは違う「現実の被災地」がそこに

あったからだ。映像にあった打ち上げられた漁船や跡形もない家屋、想像でしかない高さまで被害を受けたマンションからは、そこで息づいた人々の想いまでもが感じられた。だからこそ一生懸命、いや必死になって彼らは活動した。休憩しようだとか、少し楽をしようとする学生は誰一人いなかった。そんな彼らに被災地の方々は何度も声をかけてくださった。「もう住めないから、この家の壁を壊してしまっただけで片づけることとなった。作業後に何度か何度か聞いた「ありがとう」の言葉。涙があふれそうになった。胸に迫るその感覚は、言葉でどう表現していいのかわからなかった。後日、彼らはそう語ってくれた。

#### 学生の想い

「普段使う『ありがとう』という言葉は、大阪と被災地では違う」「今、自分が置かれている環境がいかに恵まれているか感じるようになった」「この体験を多くの人々に伝えて、ボランティアへの参加を呼びかけたい」

#### 秋の祭典 大学祭、文化祭

#### 心をひらいて 仲間と楽しむ

9月から10月にかけて、学園の各学校では、大学祭、文化祭が開催された。普段とは違った表情を見せる学生・生徒たち。仲間と一緒に、今しかできないことに一生懸命取り組む姿は、キャンパスに活力を吹き込み、一層の輝きを与えてくれた。

「青春はプライスレス（今しかできない経験）」

滝井高校では、今年度より「滝井フェスタ」と名称を改め、「コーラス大会（9月16日）」「舞台発表・作品展示・模擬店出店（9月18日）」「体育大会（9月27日）」の3部構成で秋の行事に全力で取り組んだ。（その他の様子は8面「イベント写真館」で紹介）



校庭に作られたステージで熱唱する生徒たち（9月18日）

「震災から8カ月経過しても仮設住宅入居の方々は依然として厳しい状況に置かれている」「清掃した家屋跡を住んでいた方々に見ていただき、再建の希望を抱いてもいい」「ボランティア活動は誰からか評価されるべきものではない。自分自身の気持ちの中で完結して次のボランティアに参加すること。それを自己完結と考えるようになった」

「被災地の方々にいただいた『ありがとう』の言葉、伝えたいのは自分の方だった」

活動を終えて、報告会で聴く学生たちの言葉に、私たちは驚きと感動を覚えるとともに、この学生たちの経験、言葉を次の学生に繋げていかなければならないと改めて感じている。

最初、参加する動機は「困った人たちを助けたい」という単純なものだったかも知れない。しかし、学生たちは被災現場に身を置いたことで、現代社会が抱える課題を自分のものとして置き換え、対策を考え抜き、そして行動に移した。このプロセスは、彼らがこれから社会で活躍するための大きな経験となったに違いない。

「僕たちが今できることは何か？これからすべきことは何か？」。東日本大震災で被災した岩手県にボランティアで行った本学の学生たちが、目で見、話を聞き、全身で感じたことを報告してくれた。彼らが行く前とあとでは、考え方も行動もきつと大きく変化しているはずだ。

学生の間に、できるだけでなく、色々なことを体験してほしい。そして5つの感覚を研ぎ澄ましてほしい。日本がかつてない困難に直面した2011年も過ぎていく。被災地では、多くの人の心を震わせた情景がほとんど消えてしまった。それを取り戻すことができるのか。先の学生は「前よりいい町にしてやる」と力を込めて言った。被災地に「故郷」が、出来るだけ早く蘇ることを願ってやまない。

独 白  
大阪国際学園  
理事長 奥田吾朗  
故郷を取り戻す  
「故郷（ふるさと）」という歌がある。「鬼追いしかの山小鮒釣りの川」。そのような情景はとくにこの世から姿を消したが、今も世代を超えて多くの人に歌い継がれている。

## CONTENTS

- 2面 国際交流／地域連携
- 3面 活躍名鑑
- 4・5面 教学ニュース
- 6面 入試トピックス
- 7面 就職トピックス
- 8面 学園あらかると「ひと」39歳でビジョンメガネ社長に就任した安東 晃一さん



**日々英語力のアップ実感**

国際大からカナダの北ブリティッシュ・コロンビア大学に派遣されて、気づいたらもう2カ月ほどたちました。現地に到着して最初の2週間は、生活に慣れることや、授業についていくこと、友達を作ることなど、毎日忙しく本当に大変でした。

1カ月ぐらいたってからはこちらの生活にも少し慣れ、友達もたくさんできました。英語力

**奥田政三教育・研究基金 来京へはばたく奨学生**

姜 銀(きょうぎん)さん  
 大学ビジネス学部経営デザイン学科 3年次生・中国出身

北ブリティッシュ・コロンビア大学 (協定校、カナダ・プリンスジョージ)に派遣留学中

が伸びてきているのを毎日実感しています。

カナダでの生活は充実していて、時間がたつのが凄く早いです。このチャンスをきつかけに自分の夢に近づきたいと思っています。

深江 可那子さん  
 滝井高校1年生

**積極的な学習態度に驚く**

交換留学生としてカナダで学ぶ機会をいただき、ありがとうございます。

ホストファミリーのスマイルには、家族の一員同様に受け入れていただき、日常の細かい

**自然の中で楽しく交流 留学生ら、食べて歓談**

10月8日の日曜日、国際大の34人の留学生と一般学生が里山の雰囲気いっぱいの枚方市穂谷バス停に集合し、野外活動センターへ向かいました。まだ紅葉はありませんでしたが、自然の空気を吸い、おしゃべりをしながら目的地に到着。

バーベキューや天ぷらの食材の準備から食事・後片付けまで、ワイワイ賑やかに留学生と

ことから優しく教えていただきました。

学校では、生徒自身が授業を選択し、積極的に学習する様子を見て驚きました。日本と異なる文化に触れ、多くの人々との交流ができた6週間は、私の貴重な経験となりました。

この経験をこれからの私の人生に活かしていきたいと思っています。

**「ひと・まち・であう」プロジェクトは2010年6月に発足し、枚方キャンパス周辺地域の菅原東校区と京都府南山村村において、まちづくり活動を行っています。前者との関わりでは、「安全安心マップ」の作成や「校区体育祭・夏祭り」への参加、ならびに土曜日の児童育成事業「てらこや友遊」の企画運営などを通じ、地域の人と密接な信頼関係を構築しています。また、南山城村との関係では、今夏、2泊3日のフィールドワークを実施し、村民の方々に、「ヨソ者(学生)から見た高尾地区の魅力」というテーマでおこしのアイデアを提案**

していただきました。

そして、こうした地域活動の中から得られた経験や知識を活かし、9月1日に行われた「第6回全国学生政策フォーラムin登別」では、「福祉のまちづくり(結ゆ)いでつくる登別」を

**日ごろの活動に感謝状**

守口市福祉協 大学・短大 ボランティア活研

私達、大学・短大のボランティア活動研究会は「奉仕の心、感謝の気持ちを忘れない」を目標に、日々、幅広い年代の方々を対象に、様々なボランティアをしてきました。

そんな中、10月9日に守口市社会福祉協議会が主催の60周年記念福祉大会が行われ、これまでの活動功績が認められ、感謝状をいただくことになりました。今回こうして感謝状をいただいたのは、歴代の先輩の方々をはじめ、今の世代の部員が日々頑張ってきた証なので、受け取った時は本当に嬉しかったです。

最近の活動としては、10月29日に障がいを持った方を対象に行われたスポーツ大会に行きました。当日は誘導や運営協議のサポートしか出来ませんでした。が、会場内はすごい熱気と笑顔で包まれていました。楽しかったです！

今回ほんの一部分の活動しか紹介できませんでしたが、ボランティアの中で生まれる「繋がりを大切に、これからも今

「ひと・まち・であう」プロジェクトは2010年6月に発足し、枚方キャンパス周辺地域の菅原東校区と京都府南山村村において、まちづくり活動を行っています。前者との関わりでは、「安全安心マップ」の作成や「校区体育祭・夏祭り」への参加、ならびに土曜日の児童育成事業「てらこや友遊」の企画運営などを通じ、地域の人と密接な信頼関係を構築しています。また、南山城村との関係では、今夏、2泊3日のフィールドワークを実施し、村民の方々に、「ヨソ者(学生)から見た高尾地区の魅力」というテーマでおこしのアイデアを提案

**「ひと・まち・であう」プロジェクト**

テーマに発表したところ、「NPO法人政策マネジメント研究所賞」を受賞するに至りました。

この賞は、新たな公共の担い手という視点で政策提言した団体のうち特に顕著なものに与えられるもので、今春の京田辺に続く2度目の受賞に、自分たちのやっていることに手ごたえを感じる事ができました。

今後の活動としては、菅原東校区の防災マップの作成や、南山村住民との協働で、村内に学生交流センターの設置などを行っていく予定です。

このように、自分たちが住む町・関わる町は、自分たちがまちづくりを行う「協働型社会」の構築を目指し、日々「考動」を展開している私たちです。

「ひと・まち・であう」プロジェクト学生リーダー 現代社会学部法律政策学科4年次生 根岸 昂生

「ひと・まち・であう」プロジェクトは2010年6月に発足し、枚方キャンパス周辺地域の菅原東校区と京都府南山村村において、まちづくり活動を行っています。前者との関わりでは、「安全安心マップ」の作成や「校区体育祭・夏祭り」への参加、ならびに土曜日の児童育成事業「てらこや友遊」の企画運営などを通じ、地域の人と密接な信頼関係を構築しています。また、南山城村との関係では、今夏、2泊3日のフィールドワークを実施し、村民の方々に、「ヨソ者(学生)から見た高尾地区の魅力」というテーマでおこしのアイデアを提案

**大学留学生紹介 本学への留学生たち**

国際大では、さまざまな国の留学生が学び、在学生たちにとっても異文化を学ぶいい機会となっています。卒業後は、国際大で学んだグローバルマインドを糧に、母国と日本の架け橋となって活躍してくれることでしょう。そんな留学生たちの中から今号では7人を紹介します。(コメント ①日本で学びたいこと、やってみたいこと ②将来の夢や目標 ③趣味・特技 ④自己PRやひとこと)

「ひと・まち・であう」プロジェクトは2010年6月に発足し、枚方キャンパス周辺地域の菅原東校区と京都府南山村村において、まちづくり活動を行っています。前者との関わりでは、「安全安心マップ」の作成や「校区体育祭・夏祭り」への参加、ならびに土曜日の児童育成事業「てらこや友遊」の企画運営などを通じ、地域の人と密接な信頼関係を構築しています。また、南山城村との関係では、今夏、2泊3日のフィールドワークを実施し、村民の方々に、「ヨソ者(学生)から見た高尾地区の魅力」というテーマでおこしのアイデアを提案

**各地域で施設で演奏活動実施へ**

滝井高校吹奏楽部

滝井高校の吹奏楽部は吹奏楽コンクール北地区大会で3年連続金賞を受賞しています。また、コンクール以外にも多くの活動をしています。その中でも地域での演奏活動を積極的にこなっています。

夏の終わりに11月にかけて、今市商店街パレード、京阪OSAKA水上音楽パレードに参加し、船上で演奏する吹奏楽部(10月23日)

また、12月以降にはクリスマスシーズンを迎え、校庭イルミネーション点灯演奏、学校近隣「びよびよクラブ」のみなさんをお招きしての近隣幼稚園園児との演奏や発表、関西医科大学枚方病院、牧病院のヒーリングコンサート、また思斉特別支援学校への訪問演奏等近隣の他、いろいろな施設でのふれあい活動を実施することになっています。

週末にどこからか吹奏楽の生演奏が聞こえてきたら滝井の吹奏楽部かもしれません。部員とグローバルの一生懸命のパフォーマンスをこれからも応援して下さい。

(吹奏楽部顧問 瓜生 恭宏)

「ひと・まち・であう」プロジェクトは2010年6月に発足し、枚方キャンパス周辺地域の菅原東校区と京都府南山村村において、まちづくり活動を行っています。前者との関わりでは、「安全安心マップ」の作成や「校区体育祭・夏祭り」への参加、ならびに土曜日の児童育成事業「てらこや友遊」の企画運営などを通じ、地域の人と密接な信頼関係を構築しています。また、南山城村との関係では、今夏、2泊3日のフィールドワークを実施し、村民の方々に、「ヨソ者(学生)から見た高尾地区の魅力」というテーマでおこしのアイデアを提案

**「ひと・まち・であう」プロジェクト**

テーマに発表したところ、「NPO法人政策マネジメント研究所賞」を受賞するに至りました。

この賞は、新たな公共の担い手という視点で政策提言した団体のうち特に顕著なものに与えられるもので、今春の京田辺に続く2度目の受賞に、自分たちのやっていることに手ごたえを感じる事ができました。

今後の活動としては、菅原東校区の防災マップの作成や、南山村住民との協働で、村内に学生交流センターの設置などを行っていく予定です。

このように、自分たちが住む町・関わる町は、自分たちがまちづくりを行う「協働型社会」の構築を目指し、日々「考動」を展開している私たちです。

「ひと・まち・であう」プロジェクトは2010年6月に発足し、枚方キャンパス周辺地域の菅原東校区と京都府南山村村において、まちづくり活動を行っています。前者との関わりでは、「安全安心マップ」の作成や「校区体育祭・夏祭り」への参加、ならびに土曜日の児童育成事業「てらこや友遊」の企画運営などを通じ、地域の人と密接な信頼関係を構築しています。また、南山城村との関係では、今夏、2泊3日のフィールドワークを実施し、村民の方々に、「ヨソ者(学生)から見た高尾地区の魅力」というテーマでおこしのアイデアを提案

ビジネス学部経済ファイナンス学科3年次生(ベトナム)  
**DANG THI HONG SON**  
 (ダン ティ ホン ソン)

①金融システム、日本経済史を学びたいです  
 ②大学の教師になりたいです  
 ③読書、料理  
 ④粘り強いです

校方留学生別科(メキシコ)  
**MIGUEL FLORES IVAN**  
 (イバン ミゲル フローレス)

①東京へ行ってみたい。水族館へ行ってみたい。友だちをつくりたい。日本語を勉強したい  
 ②大学でロボット工学を勉強している。将来はIntelに就職したい  
 ③パソコンやサッカーやヴァイオリンやアニメやコンピューターゲーム  
 ④Have fun!! みんなで楽しめよう!!

現代社会学部情報デザイン学科1年次生(中国)  
**崔 偉 (サイイ)**

①日本の先進の技術。いろいろなアルバイトをやりたい  
 ②日本の貿易の会社で就職したい。あるいは国に帰ってから通訳の仕事をしたい  
 ③スポーツ  
 ④将来の夢のために、いろいろ勉強して、自分を鍛えます

現代社会学部情報デザイン学科3年次生(インドネシア)  
**Ridwan Athyar**  
 (リドワン アヒヤール)

①ITのこと ②自分の会社を持つこと。特にIT会社 ③読書・本をはやく読むこと ④私はまけずげいざいな人間です

守口留学生別科(タイ)  
**Apirat Ravinantapricha**  
 (アピラット ラビナンタプリチャー)

①日本の音楽が好きなので、ミュージックビジネスを学びたい  
 ②芸能界についての仕事 ③料理やスイーツを作る。日本の音楽を聴く  
 ④この学校は世界の国々の学生がいるので、習慣や性格もちがう。でも、そのおかげで、毎日新しいことがわかって、楽しいです

国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科3年次生(韓国)  
**趙允卿 (チョ ユンギョ)**

①旅行、観光 ②旅行会社員に就いてプランナーとして活躍したい  
 ③パソコン、テレビ。ブライด์タイムが好きです  
 ④「嵐」が好きで日本語を勉強し、今は日本での就職を目標に日々勉強しています。今もこれからも日本が好き!

人間科学部人間健康科学科1年次生(台湾)  
**陳鈺婷(チン ギョウテイ)**

①日本語を上達させたい  
 ②日中の通訳ができるようになる  
 ③インターネットをすること  
 ④留学して一人暮らしは大変ですが、楽しい経験もいろいろあります

「ひと・まち・であう」プロジェクトは2010年6月に発足し、枚方キャンパス周辺地域の菅原東校区と京都府南山村村において、まちづくり活動を行っています。前者との関わりでは、「安全安心マップ」の作成や「校区体育祭・夏祭り」への参加、ならびに土曜日の児童育成事業「てらこや友遊」の企画運営などを通じ、地域の人と密接な信頼関係を構築しています。また、南山城村との関係では、今夏、2泊3日のフィールドワークを実施し、村民の方々に、「ヨソ者(学生)から見た高尾地区の魅力」というテーマでおこしのアイデアを提案

「ひと・まち・であう」プロジェクトは2010年6月に発足し、枚方キャンパス周辺地域の菅原東校区と京都府南山村村において、まちづくり活動を行っています。前者との関わりでは、「安全安心マップ」の作成や「校区体育祭・夏祭り」への参加、ならびに土曜日の児童育成事業「てらこや友遊」の企画運営などを通じ、地域の人と密接な信頼関係を構築しています。また、南山城村との関係では、今夏、2泊3日のフィールドワークを実施し、村民の方々に、「ヨソ者(学生)から見た高尾地区の魅力」というテーマでおこしのアイデアを提案

私が台湾の長栄大学で学んだことの一つ目は、中国語です。台湾の中国語は漢字を省略しないで書くので画数が非常に多く、とても分かりづらいのが今も印象に残っています。でも改めて基本から教えてもらい、今まで勉強してきた中国語や台湾に来てから教えてもらった中国語を使って、現地の人と会話をしたり、お店の人に値段の交渉をしたり、お店の人が会話の中心になることばかりでした。

二つ目は、ホームステイ先の家族のことです。ホームステイ先の方は日本語観光の先生で、日本語がとても上手で話しやすく明るい性格の方でした。ホームステイに行ったその日の夜に台南市で一番大きいと聞いた「花園夜市」に連れていってもらい

**「ひと・まち・であう」プロジェクト**

テーマに発表したところ、「NPO法人政策マネジメント研究所賞」を受賞するに至りました。

この賞は、新たな公共の担い手という視点で政策提言した団体のうち特に顕著なものに与えられるもので、今春の京田辺に続く2度目の受賞に、自分たちのやっていることに手ごたえを感じる事ができました。

今後の活動としては、菅原東校区の防災マップの作成や、南山村住民との協働で、村内に学生交流センターの設置などを行っていく予定です。

このように、自分たちが住む町・関わる町は、自分たちがまちづくりを行う「協働型社会」の構築を目指し、日々「考動」を展開している私たちです。

「ひと・まち・であう」プロジェクト学生リーダー 現代社会学部法律政策学科4年次生 根岸 昂生

**「ひと・まち・であう」プロジェクト**

テーマに発表したところ、「NPO法人政策マネジメント研究所賞」を受賞するに至りました。

この賞は、新たな公共の担い手という視点で政策提言した団体のうち特に顕著なものに与えられるもので、今春の京田辺に続く2度目の受賞に、自分たちのやっていることに手ごたえを感じる事ができました。

今後の活動としては、菅原東校区の防災マップの作成や、南山村住民との協働で、村内に学生交流センターの設置などを行っていく予定です。

このように、自分たちが住む町・関わる町は、自分たちがまちづくりを行う「協働型社会」の構築を目指し、日々「考動」を展開している私たちです。

**「ひと・まち・であう」プロジェクト**

テーマに発表したところ、「NPO法人政策マネジメント研究所賞」を受賞するに至りました。

この賞は、新たな公共の担い手という視点で政策提言した団体のうち特に顕著なものに与えられるもので、今春の京田辺に続く2度目の受賞に、自分たちのやっていることに手ごたえを感じる事ができました。

今後の活動としては、菅原東校区の防災マップの作成や、南山村住民との協働で、村内に学生交流センターの設置などを行っていく予定です。

このように、自分たちが住む町・関わる町は、自分たちがまちづくりを行う「協働型社会」の構築を目指し、日々「考動」を展開している私たちです。

**「ひと・まち・であう」プロジェクト**

テーマに発表したところ、「NPO法人政策マネジメント研究所賞」を受賞するに至りました。

この賞は、新たな公共の担い手という視点で政策提言した団体のうち特に顕著なものに与えられるもので、今春の京田辺に続く2度目の受賞に、自分たちのやっていることに手ごたえを感じる事ができました。

今後の活動としては、菅原東校区の防災マップの作成や、南山村住民との協働で、村内に学生交流センターの設置などを行っていく予定です。

このように、自分たちが住む町・関わる町は、自分たちがまちづくりを行う「協働型社会」の構築を目指し、日々「考動」を展開している私たちです。

**「ひと・まち・であう」プロジェクト**

テーマに発表したところ、「NPO法人政策マネジメント研究所賞」を受賞するに至りました。

この賞は、新たな公共の担い手という視点で政策提言した団体のうち特に顕著なものに与えられるもので、今春の京田辺に続く2度目の受賞に、自分たちのやっていることに手ごたえを感じる事ができました。

今後の活動としては、菅原東校区の防災マップの作成や、南山村住民との協働で、村内に学生交流センターの設置などを行っていく予定です。

このように、自分たちが住む町・関わる町は、自分たちがまちづくりを行う「協働型社会」の構築を目指し、日々「考動」を展開している私たちです。

**「ひと・まち・であう」プロジェクト**

テーマに発表したところ、「NPO法人政策マネジメント研究所賞」を受賞するに至りました。

この賞は、新たな公共の担い手という視点で政策提言した団体のうち特に顕著なものに与えられるもので、今春の京田辺に続く2度目の受賞に、自分たちのやっていることに手ごたえを感じる事ができました。

今後の活動としては、菅原東校区の防災マップの作成や、南山村住民との協働で、村内に学生交流センターの設置などを行っていく予定です。

このように、自分たちが住む町・関わる町は、自分たちがまちづくりを行う「協働型社会」の構築を目指し、日々「考動」を展開している私たちです。

**「ひと・まち・であう」プロジェクト**

テーマに発表したところ、「NPO法人政策マネジメント研究所賞」を受賞するに至りました。

この賞は、新たな公共の担い手という視点で政策提言した団体のうち特に顕著なものに与えられるもので、今春の京田辺に続く2度目の受賞に、自分たちのやっていることに手ごたえを感じる事ができました。

今後の活動としては、菅原東校区の防災マップの作成や、南山村住民との協働で、村内に学生交流センターの設置などを行っていく予定です。

このように、自分たちが住む町・関わる町は、自分たちがまちづくりを行う「協働型社会」の構築を目指し、日々「考動」を展開している私たちです。

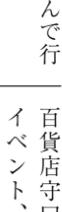
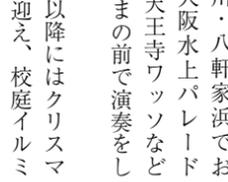
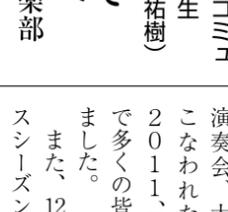
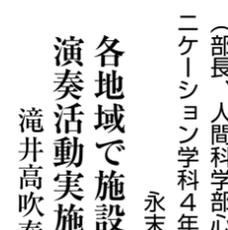
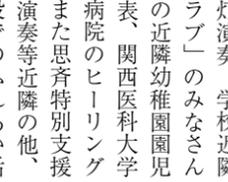
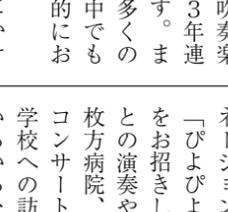
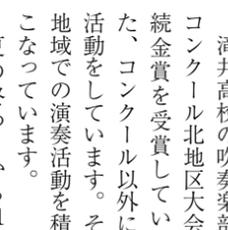
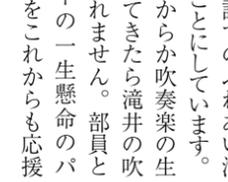
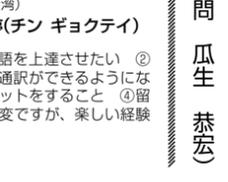
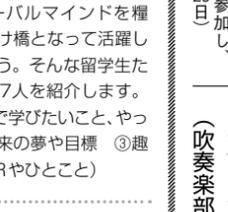
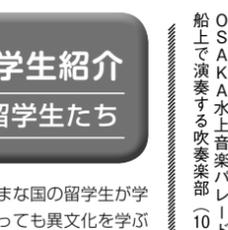
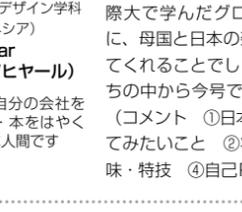
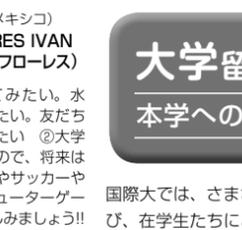
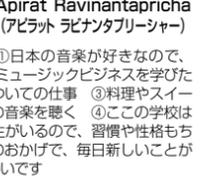
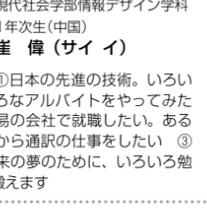
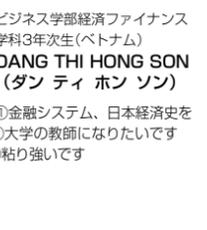
**「ひと・まち・であう」プロジェクト**

テーマに発表したところ、「NPO法人政策マネジメント研究所賞」を受賞するに至りました。

この賞は、新たな公共の担い手という視点で政策提言した団体のうち特に顕著なものに与えられるもので、今春の京田辺に続く2度目の受賞に、自分たちのやっていることに手ごたえを感じる事ができました。

今後の活動としては、菅原東校区の防災マップの作成や、南山村住民との協働で、村内に学生交流センターの設置などを行っていく予定です。

このように、自分たちが住む町・関わる町は、自分たちがまちづくりを行う「協働型社会」の構築を目指し、日々「考動」を展開している私たちです。





### 中国語検定

準1級に合格

三浦 静さん

大学ビジネス学部経営デザイン学科4年次生

▽難関の日本中国語検定協会中国語検定準1級に合格した。



「スマイル&ヴォイス」このコーナーでは、スポーツや文化活動、資格取得、様々な課外活動で成果をあげた学生たちの喜びの声を紹介する。**就職に活かしたいと日々努力：**

### インカレ走高跳

6位に入賞

戸谷 真理子さん

陸上競技部・大学人間科学部スポーツ行動学科4年次生



▽女子走高跳で、天皇賜杯日本学生対校選手権大会(日本インカレ)と日本学生個人選手権大会共に6位入賞、さらに西日本インカレ優勝を果たした。

「高校時代は怪我のせいもあり中学時代の記録から1センチ伸びなかったのですが、大学で16

## 全日本 中学バレー 大和田中が初優勝

### 大接戦 最後まで粘り抜き

8月17日から地元大阪で行われた第41回全日本中学校バレーボール選手権大会、この記念すべき大会で悲願の初優勝を果たすことができた。

7月に行なわれた大阪大会では決勝で金蘭会中に大逆転負けを喫したものの、準優勝で第60回近畿中学校総合体育大会への出場権を獲得しました。2日前の4強リーグ戦で同じく金蘭会中と対戦し、2-0で勝ったことと心に隙ができてしまったと思ひます。決勝での敗戦でチームの甘さ、弱さを再認識するこ

とができ、この試合をきっかけにチーム全体が厳しさを増して、戦える集団に生まれ変わり、チームが団結していきつづけるようになりました。「自分を信じて！仲間を信じて！」を合言葉にして緊張感を持って臨んだ近畿大会では2年ぶり6回目の優勝を果たすことができました。

全国大会では、予選、決勝トーナメント2試合を順当に勝ち上がり、準決勝に進みました。前年度優勝校である長野県裾花中との対戦はフルセットの大激戦となり、準決勝にふさわしい好



悲願の初優勝を飾り喜びいっぱいの部員たち

である北京語は全然違う言葉。中学から神戸中華同文学校で北京語を習い始め、高校、大学では自分で勉強を続け、中国語を活かした就職をしたいと思って検定に挑戦しました。

準1級は、実務に即従事できるぐらいのレベル。検定の受験者は全国で年間約5万人といわれていますが準1級は100人から200人くらいしか受験者がなく、合格率は約10%。特にリスニングは本場と変わらない速さで、頭の中は全部中国語という状態になるくらい集中して勉強しました。

無事に合格し、就職も海外流通関係に決まりました。今後は1級に挑戦し、韓国語や英語も使えるようになりたいです。

中村沙樹さん 同1年次生  
中島麻衣さん 短大幼児保育学科1年次生  
▽10月に開催された山口国体の女子サッカーに大阪府代表で出場、見事14年ぶりに優勝に輝いた。

齋藤敏子さん 大学人間科学部スポーツ行動学科3年次生

中島さん 生まれて初めての全国大会出場が優勝というとても大きな経験が出来て本当に良かったと思います。今後は大学のチームで全国優勝を目指して頑張っていこうと思います。

この優勝に驕ることなく、これから精進していきたいと思ひます。生徒の皆さん、保護者の皆さん、多くの先生方、ご支援、温かいご声援ありがとうございました。

(バレーボール部監督 木村 正章)



全日本大会初戦勝利に沸く国際大チーム

山下さんが大阪府代表に選ばれたのは、地区大会個人戦優勝

大学・短大軟式野球部が、全日本軟式野球選手権大会に西都大学軟式野球連盟代表として出場を果たした。2年ぶり12回目の出場。全日本大会は、11月19日から24日まで熊本県で行われ、本学は初戦、東京電機大学理工学部6対2で快勝。2回戦では、信州大長野に2対3で惜敗したが、初戦敗退した一昨年より一段躍進の手こたえを得た。

同部は、春季リーグ1部で見事優勝し、通常なら8月の全日本大会に出場するところだったが、東日本大震災の影響で大会は中止に。秋季リーグでは、春秋連覇を果たすことができた。シーズンは終わるかに思われたが、全日本連盟が11月に東日本大震災復興祈念事業として全日本選手権を開催することを決定、春季優勝の本学と秋季優勝の天理大学が争い、勝利した本学が全日本への切符を得た。

また、春季リーグの活躍により、奥田駿選手(国際コミュニケーションシヨン学科4年次生)が MVP、本塁打王、ベストナインに、瀬井一貴選手(人間科学部心理コミュニケーション学科4年次生)、中村晃清選手(同人間健康科学科3年次生)、新名大選手(ビジネス学部経営デザイン学科3年次生)がベストナインに選ばれ表彰された。

(軟式野球部顧問 日野 隆生)

## 大学・短大軟式野球部 「全日本大会」に出場

### 2年ぶり12回目

山下さんが大阪府代表に選ばれたのは、地区大会個人戦優勝

同部は、春季リーグ1部で見事優勝し、通常なら8月の全日本大会に出場するところだったが、東日本大震災の影響で大会は中止に。秋季リーグでは、春秋連覇を果たすことができた。シーズンは終わるかに思われたが、全日本連盟が11月に東日本大震災復興祈念事業として全日本選手権を開催することを決定、春季優勝の本学と秋季優勝の天理大学が争い、勝利した本学が全日本への切符を得た。

また、春季リーグの活躍により、奥田駿選手(国際コミュニケーションシヨン学科4年次生)が MVP、本塁打王、ベストナインに、瀬井一貴選手(人間科学部心理コミュニケーション学科4年次生)、中村晃清選手(同人間健康科学科3年次生)、新名大選手(ビジネス学部経営デザイン学科3年次生)がベストナインに選ばれ表彰された。

(軟式野球部顧問 日野 隆生)

## クラブ活動

6/12 インターハイ府予選 会女子フルレ個人 2位 野瀬 なつき(2)▽3位 眞鍋瑞美(2)

7/29/8/2 インターハイ女子個人エベ 同フルレ、学校対抗 出場

吹奏楽部 7/29 大阪府吹奏楽コンクール 北地区大会 金賞

ソフトボール部 8/23/26 近畿私学大会 3位

## 大和田高校

10/29 大阪高校総体団体戦トナメント 5位

女子ソフトテニス部 10/19 大阪新大会ブロック予選 北浦 太田(以上2)

美術部 7/26/31 大阪私学美術展 テーマ部門賞 石井 歩▽優秀賞 石井 歩▽北野真穂▽奨励賞 塚本千尋(以上3)▽北川美海▽酒匂大輝(以上2)▽堤 ゆきは(1)

大和田中学 バレーボール部 8/29 全国都道府県対抗中学大会府選抜メンバー 林日向子▽松山明日香(以上3)

## 大和田中学

9/10 北河内秋季大会優勝(32季連続32回目)

9/19 大阪私立総体 3位

10/8 大阪秋季総体 ベスト8

10/20/23 全日本中学生選抜強化合宿(二次) 参加 高野由里加(3)

## 美穂部

11/1/13 全日本中学生日韓交流戦参加 高野由里加(3)

11/27/12/1 全日本ジュニアユース合宿参加 金田修佳▽高野由里加▽林日向子(以上3)

ソフトテニス部 8/24 大阪私学大会団体 3位

11/6 大阪府インドア大会出場 滝谷 浩 瀬野(以上2)

## 女子ソフトテニス部

8/25 大阪私学大会団体 5位

8/25 大阪私学大会団体 5位

11/6 大阪私学大会 シングル準優勝 糸川尚平(3)

美術部 7/26/31 大阪私学美術展 優秀賞 木下優花▽奨励賞 上野加奈子▽寺尾葉月▽西田知世(以上3)▽井田沙霧(2)

## 美穂部

7/26/31 大阪私学美術展 優秀賞 木下優花▽奨励賞 上野加奈子▽寺尾葉月▽西田知世(以上3)▽井田沙霧(2)

女子ソフトテニス部 8/25 大阪私学大会団体 5位

11/6 大阪私学大会 シングル準優勝 糸川尚平(3)

美術部 7/26/31 大阪私学美術展 優秀賞 木下優花▽奨励賞 上野加奈子▽寺尾葉月▽西田知世(以上3)▽井田沙霧(2)

# 学びウォッチング



リハビリの現場に即した内容に学生たちも真剣に耳を傾ける

## 運動を薬の代わりに 人間科学部スポーツ行動学科

「スポーツリハビリテーションⅡ」  
新村 由恵(しむら・ゆきえ) 講師  
お年寄りや病気で身体機能が低くなった人を運動によって治療する—こんな目的で3年次生を対象に理論と実践で15回展開される。

肥満症、高血圧症、糖尿病、心疾患、脳血管疾患等の患者や虚弱高齢者等、いわゆる生活習慣病予防や要介護化予防としてのリハビリの仕方を学んでいく。

5回目の講義「脳血管疾患のためのスポーツリハビリテーション」をのぞいた。筑波大学のスポーツ医学博士号を持つ新村講師は、学生時代、水泳の短距離選手として活躍しただけあって、引き締まった身体だ。約40人の受講者は、指定席に座る。プリントとパワーポイントを使って、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、一過性脳虚血発作などの医学用語を解説。ところどころ空白になったプリントに書き込ませる。「はい、ここはしっかり覚えてください」と確認する。学生はスクリーンを見つめ、90分の授業中、居眠りや私語をする学生はいない。

障がいがある人が転倒して骨折しないようにするには、どのような注意をする必要があるか、などを学んでいく。授業の終わりに、この日学んだことをどれくらい理解したかをみる復習テストがある。

この講座の単位は、初級障害者スポーツ指導員などの資格につながる。高齢化が進む中、これからますます必要になってくるスポーツリハビリテーション。新村講師は「学生がどんな職業についても、ここで学んだ事はきっと役立つでしょう」と話している。

事故による旅行の自粛やキャンセルによる風評被害について福島県を訪れ、観光地で働く人々から聞き取り調査や、仮設住宅に避難されている被災者へのボランティア活動の報告をまとめ「がんばろう日本!」(略)が、優秀賞(清州市市長賞)を受賞した。

自分たちの目と肌で感じた確かな情報を世界に伝えることが大切であると訴えた内容が高く評価された。

夏休みに大学に集まり、プレゼンの練習やパワーポイントを作成した成果が実り、数ある大会の中にあっても十分渡り合えるという大きな自信になったことに私たちは満足している。

毎夏、この韓国研修旅行は国際コミュニケーション学部が実施している。次年度の第2回大会にも、ぜひ後輩達が参加してチャレンジしてほしい。

(国際コミュニケーション学部 渡邊ゼミ委員長 芳井 大起)

# 「地域に開かれた大学」目指し

今年度は東日本大震災関連の講義を中心に  
現代社会学部法律政策学科  
公開授業「現代の危機管理」(オムニバス形式)

枚方キャンパス6号館大講義室。階段教室で約80人の学生に混じって、年配の男女10人近くが、真剣にメモを取っている。

現代社会学部法律政策学科の大矢吉之教授がコーディネーターを務める公開授業「現代の危機管理」で、9月から12年1月まで、東日本大震災関連の講義が15回実施された。

この授業は、学生に国際情勢に関

の職員にも加わってもらった。また、岩手県で9月に1回目のボランティア活動をした本学の学生も体験を報告し、会場に大きな感銘を与えた。

10月17日の5回目の講義をのぞくと、5、8月の2回、岩手県石巻市や福島県南相馬市などでボランティアの意識調査などを行った情報デザイン学科の中野健秀准教授が報告。地震学の学位も持つ中野准教授は、近く起こるとい南海地震の予知についてもふれた。

この日が3回目という70代の男性は「大変分かりやすく、ためにな



被災地ボランティア派遣学生からの心に迫る報告が行われた(10月31日)

心をもたせるように、と1996年から法政経学部で始まった「現代の国際情勢」が源流。講師陣が充実していることもあり、3年目から「地域に開かれた発信型の大学」をめざして、授業を一般の人にも無料で聞いてもらうようになった。

今回の講師は、大矢教授ら本学の教授陣のほか、被災地で救援活動をした自衛隊大阪地方協力部や枚方市

ります。公開授業がもっと増えるとうれしい。60代の女性は「学生さんにも世の中のことが具体的に伝わっているのではないのでしょうか」と話していた。最初から公開講座にかかわっている大矢教授は「出席管理や成績処理など難しい面もあるが、地元のみならずにも好評なので、出来るだけ続けていきたい」と話している。

## 第7回 学生チャレンジ採択企画 5件決まる

豊かな内容 同窓会特別賞に1件



「がんばろう日本〜今、観光を学ぶ我々にも出来ること〜」被災地の大学生とともに支援活動を行う学生たち

第7回となる「学生チャレンジ制度」Challenge The Global Mindの採択企画が決定し、学生たちは6月の最終審査をパスして以来、企画の実行に精力的に取り組んでいる。今回は、枚方キャンパス2件(内1件は「同窓会特別賞」として採択)、守口キャンパス4件が採択。学生たちの大学を思う気持ちや東日本大震災への支援、そして、世界の恵まれない人たちに目を向けたものなどバラエティー豊かな内容

- ◆国際の子育て支援の展開「築き合う未来」(枚方)
- ◆「がんばろう日本」今、観光を学ぶ我々にも出来ること(守口)
- ◆Ca.Fair!〜その一杯が世界を変える〜(守口)
- ◆マスコットキャラクター(心ちゃん・理っちゃん)を使った広報戦略(守口)
- ◆スポーツ吹矢で老人ホーム慰問(守口)
- ◆同窓会特別賞
- ◆大阪国際大学に活気を!情報デザイン学科一期生による「卒業制作展示会」(枚方)



優秀賞を受賞し東北亜観光学会会長から賞状を授与される国際大学生

## 東北亜観光学会

### 18大から51チーム参加

#### 7分科会 熱い論戦かわす

韓国

東北亜観光学会の第1回大学生国際発表大会は8月に韓国清州大学校で開催され、日本・韓国の18大から51チーム209人が参加した。観光を学ぶアジアの学生が「観光」をテーマに7つの分科会会場で発表し議論を交わした。

私たち国際国際国際国際コミュニケーション学部 渡邊公准准教授のゼミ17人は、「がんばろう日本!〜いま観光を学ぶわれわれのできること〜」、「中国海南島の観光誘致について」、「アニメにおけるマーケティング

国際コミュニケーション学部

優秀賞に輝く

初の大学生国際発表大会

今年度も、学生チャレンジ制度に応募し採択され、今回の特別賞としては、日本在住外国人も含めた子育てイベントの企画を進めています。

去る10月29日の灯華祭において、キッズルームと授乳室を備えたカフェを出店し、子供達は学生と絵本を読んだり、遊具で遊んだりして楽しく過ごしました

「親子ふれあいフェスタ」開催へ  
来年2月12日

だく為、左記の日程で「親子ふれあいフェスタ」を開催する予定です。学園関係者や地域の皆

様には是非ご来場いただければ幸いです。

日時 2012年2月12日(日) 10時〜15時

場所 大学 枚方キャンパス内

なお、イベント内容等は調整中の為、詳細は本学公式サイトに掲載致しますのでご覧ください。

(代表) ビジネス学部経営デザイン学科4年次生 下元 啓大)

7月

大学 NSCお笑いライブ 書を寄贈

大学 スポーツ行動学科卒の 網本麻里さん、車椅子バスケットで世界記録樹立

大学 スポーツ行動学科「地域在住中高齢者のための健康支援教室」

大学 宮内俊男客員教授らによる特別講演会

滝井高 国際科2年カナダ語学研修

大・短 体育会・文化会が大久保小学校家庭キャンプに参加

大学 第4回朝市

夏期休暇から秋にかけて、現地調査を行ったり、イベントを開催したグループも多い。2月の報告会まで解決しなければならぬ課題はまだあるが、チャレンジ精神を発揮して取り組んでいるところだ

【採択企画】

◆国際の子育て支援の展開「築き合う未来」(枚方)

◆「がんばろう日本」今、観光を学ぶ我々にも出来ること(守口)

◆Ca.Fair!〜その一杯が世界を変える〜(守口)

◆マスコットキャラクター(心ちゃん・理っちゃん)を使った広報戦略(守口)

◆スポーツ吹矢で老人ホーム慰問(守口)

◆同窓会特別賞

◆大阪国際大学に活気を!情報デザイン学科一期生による「卒業制作展示会」(枚方)

2011年6月〜10月

6月

学園 北山英子名誉教授・評議員から自作絵画5点寄贈

大和田 豪朗インセストン

チャーチングラマースクールから留学生

大学 地方自治体職員によるリレー講座スタート

幼稚園 人形劇鑑賞

短大 キャビンアテンダントによるサービスマスター研修を実施

大和田 体育祭

大学 平賀芽子さん(スポーツ行動2011年卒)が世界エアロビクス選手権5位入賞

滝井 撫子会(同窓会) 総会

大学 経済ファイナンス学科で三井住友銀行寄附講座

幼稚園 音楽発表会

幼稚園 芸術鑑賞「MILTA SPECIAL LIVE」

大・短 第2回インターナショナル・デー「台湾」

幼稚園 避難訓練

幼稚園 食育交流会

大学 経済ファイナンス学科で日本損害保険協会特別講座

滝井高 修学旅行 北海道・豪

大・短 公式サイトリニューアル

学園 谷村新司トーク&ライブ支援キャラバン ココロの学校

大・短 挨拶運動スタート

滝井高 豪ツアーラックレット

大学 NSCお笑いライブ

大学 別役恭子名誉教授が蔵書を寄贈

大学 スポーツ行動学科卒の 網本麻里さん、車椅子バスケットで世界記録樹立

大学 スポーツ行動学科「地域在住中高齢者のための健康支援教室」

大学 宮内俊男客員教授らによる特別講演会

滝井高 国際科2年カナダ語学研修

大・短 体育会・文化会が大久保小学校家庭キャンプに参加

大学 第4回朝市

## 学園ニュース

生徒の多く「采選択」に満足

滝井高

「高大連携」の取り組み

和泉 修客員教授のデザイン・ビジネス系 (オムニバス授業) を受講する滝井高校の生徒たち



進学イメージしやすい 魅力ある学習内容 大学授業科目を履修

滝井高校では、生徒の進路の指向性と併設大学・短大の学部・学科の内容をもとに、高大連携授業として実施可能で、高校の通常授業とは違った魅力をもった分野を5系統に集約し、

3年次に垂直連携科目として開講している。

標準コースの生徒は、「デザイン・ビジネス」「コミュニケーション」「健康科学」の3つの分野(系)から一つを選択、系ごとに複数の履修科目を設定している。大学授業科目としては、系ごとにそれぞれ、「色彩心理学」「国内観光資源」「生活と環境」が用意されている。また、幼児保育進学コースでは「日本の伝統文化と芸術」、体育・吹奏楽コースの体育クラスでは、「人間とスポーツ」がそれぞれ大学授業科目となっている。いずれも3年次後期の開講科目で、生徒は、「科目等履修生」として、一定の成果を修めれば、大学の単位の認定も受けている。

09年度以降は、3年次前期にそれぞれ系に関わりのある先生方が、オムニバス形式で授業を

開講することになった。土曜日に大学の守口キャンパス(一部は枚方キャンパス)で開講、大学の充実した施設を利用することができ、またキャンパスの雰囲気を感じることができ、

10年目迎えたコンピュータ教育

楽しみながら学ぶ 操作も互いに教え合うまでに

幼稚園

日常生活で、情報機器に触れる機会が増え、情報機器に接する機会が増え、情報機器に接する機会が増え、情報機器に接する機会が増え、

をクリックして遊ぶモグラたたきや、バラバラになったパズルのピースをドラッグではめ込んだりする遊びなどを、楽しみながら学んでいます。

初めてパソコンに触れる子ども達は、最初はマウスの持ち方すらおぼつきませんでした。遊びながら繰り返し操作することで理解し、今では互いに教え合う姿までも見られるようになってきました。

幼児期は、様々な遊びの経験が積み合って、相互に影響を与えながら発達していきます。コンピュータの操作技術の向上をめざすものではなく、身近な環境の中の一つとして、コンピュータに触れることもひとつの経験と捉え、園の教育目標である「自ら学ぶ意欲」が育っていくよう、今後も取り組んでいきます。

1人1台のパソコンで楽しみながら学ぶ園児たち



(教諭) 三角 真希

世界学生シンポ 日本から唯一参加

私達には人を助ける力が...



ヒルトンホテルにおけるシンポジウム開会式にて。パタヤ市長をはじめ多くの来賓も参加して盛大に行われた。左端から松田さん、2人目が郭さん、右端は田口さん

37カ国67大学 講義、熱い討論

世界37カ国、67大学から343人の学生が参加したこのシンポジウムにおいて、人種、宗教、そして国境を越えて私は友情を築くことができ、新しい友達と話し合うことによって、視野を広げ、知識の量を増やしました。シンポジウムでは沢山の素晴らしい講義を聞き、討論をしました。

私は、シンポジウムの活動の一つとして盲学校を訪ね、ボランティアとして一日色々な手伝いをしました。私はそこでの経験を一生忘れることはないでしょう。盲学校の生徒達は目が見えなくても、純粋な心を持ち、彼らの美しい笑顔は暖かい太陽のようで、それは私達の心の奥を照らし、私達に勇気を与えてくれました。

このシンポジウムでわかったことは、若い世代である私達自身も人々を助ける力を持っているということ。そして、心から願えば、諦めずに頑張れば、夢は叶うということがタイでのシンポジウムから学んだ一番大切なことです。そして、1週間をすべて英語で通じたことで自分の英語力を実感でき、もっと頑張りたいと思いました。

(E.S.S.: ビジネス学部経済ファイナンス学科 3年次生 郭 嬌然(カク エンゼン))

GTEC 英語力の向上校に認定 大和町 生徒の日々の努力で

英語検定・GTEC for STUDENTS (以下、GTEC)。ベネッセコーポレーション(実施)において、大和町高校が、2010年度「GTEC英語力向上校」に認定された。該当学年は、高校3年生(2010年度高校2年生)。

「GTEC英語力向上校」とは、学年平均のGTECトータルスコアが、2009年度から2010年度にかけて60以上伸びた学校。全国の平均的な1年間のGTECトータルスコアの伸びは35〜40程度である。都度の受検で100人以上、かつ1

- 7月➡ 短大 ライフデザイン総合学 科「地域共催イベント」 大和町 高2修学旅行(北海道、シガポール・マレーシア) 大・短 防災訓練 大・短 京都府警察特別講演会 大学 スポーツ行動学科「セミナー」対抗スポーツ大会 大和町 中1、2林間学舎 大学 スポーツ行動学科 守口支援学校の子どもたちとプール活動 大和町 高3学習合宿 大和町 スポーツ行動学科 サマースクール 大学 法律政策学科生が消防署業務一日体験 大和町 高2学習合宿 大和町 中3学習合宿 大・短 枚方まつり「がんばろう日本」絆プロジェクトに協力 学園 Blossom Concert 大和町 中1イングリッシュセミナー 滝井高 卒業生の川原里依子さん(07卒) CDデビュー 大和町 高校コーラス大会 大学 法律政策学科 京都府務所見学 大学 情報デザイン学科 ものづくり合宿 大・短 台風12号による被害に対する義捐金募集 幼稚園 入園説明会 大和町 豪ジローングラマー スクール生徒発表会 大・短 キャンパスライフフリリエイターAED講習会 大学 教養講座 大・短 女子サッカー部が東日本大震災被災者のための義援金募金活動 滝井高 卒業生の森 和代選手、全日本女子バレー登録メンバーに追加 大・短 仏エセック経済商科大学院大学生とボウリング大会 大学 第5回朝市 大・短 ベトナム・ホンバン国際大学学長一行が来校 大・短 「もりぐちeセミナー」共催 大・短 日本語 英語スピーチコンテスト 滝井高 カナダIEウェルドン高校生来校 大和町 小学4〜6年生を対象 ハロウィンパーティー

# Webサイトへアクセス主流

## パソコンや携帯電話で

### 最新情報で受験直結に狙い

大学選びの手がかりとして、まず受験生は大学案内を請求することから始まります。以前は受験雑誌に付いている資料請求ハガキに記入し、切手を貼って大学へ請求したものが、今やパソコンや携帯電話を使って、受験雑誌のWebサイトや大学の公式ホームページへアクセスし、資料請求しているのが主流となっています。

#### 大学・短大入試資料

本学では大学・短大合わせて年間1万5千件の新規資料請求者があり、前年度・前々年度からのリピーターもあわせると最終的に年度末には3学年総合計2万5千件の資料請求者となります。このうち、1万2千件は本学ホームページへアクセスし、

資料を請求してきており、本学に継続的に興味や関心を持つてらつていて受験生が多く存在している証と考えています。このホームページからの資料請求者は、推薦入試を考え始める9月から増加し、1月の一般入試直前まで続くことから、大

入試日程・募集要項等の最新情報は、公式サイトでご確認下さい。

# オープンキャンパス評価上々



学生スタッフの笑顔でお迎えする大学・短大オープンキャンパス

## 大学・短大

### 3月24日(土)開催 春のオープンキャンパス

3月24日(土)に春のオープンキャンパスを実施します。あと数日で新3年生を迎える高校生にとって、本格的な進学先選びをする第一歩となるイベント。

この春のオープンキャンパスでは、枚方キャンパスの4学科も守口キャンパスに集まるの

#### 本学の全学科一堂に参集

#### 守口キャンパスで

で、一度で本学の全ての学科を見ることのできる唯一のイベントになります。この機会に足を運んでいただき、本学の「幅広い学びがある」というスケールメリットと学生の活き活きとした元気な姿をぜひご覧ください。

## 「ジョブサポート隊」活躍

大学・短大では、6月から9月にかけて夏のオープンキャンパスを今年も昨年度に引き続き、両キャンパスで同日開催という形で実施した。昨年の数はやや下回ったものの、延べ2,331人が来場した。

イベントの雰囲気としては、守口キャンパスでは、受付付近にいるジョブサポート(以下、「JS」)の学生が、訪れた来場者を丁寧に招き入れる。そして、コンシェルジュブースにいる「JS」の学生が、来場者一人ひとりの興味・関心に応じたイベントを紹介。別の「JS」の学生が来場者を案内し、本館に着くと、そこには各学科が趣向を凝らした多彩な企画が用意されており、来場者の興味・関心を注いでいた。

## 体験講座や学校紹介 在校生が中心に应对...

### 滝井高

本年度のオープンスクールは、8月27日と10月1日の両日開催し、合わせて400人を超え



親しみやすさと生の声が中学生に好評。在校生による「何でも相談コーナー」

る中学生と保護者の参加があった。今年には体験講座に加え在校生が学校紹介をしたり、中学生の相談に応じたり、生徒が中心となって実施し、参加した中学生や保護

## 来場者の満足度も最高

枚方キャンパスでも同様に、「JS」の学生たちが、訪れた来場者の一人ひとりに対して丁寧に対応し、評判は上々であった。今年は何年以上に来場者の満

大和田高校の「オープンスクール」は、9月17日に開催。吹奏楽部の演奏によるオープニングが始まり、体験学習では各教科の「入試対策講座」「クラブ活動体験」「手作り花火体験」などのイベントで、在校生とも交流しながら楽しい時間を過ごしていた。この日は雨天にもかかわらず、昨年度を大きく上

## 入試対策講座等 昨年大きく上回る来場者



大和田高校オープンスクール「入試対策講座 数学」に熱心に取り組む生徒達

足度が高く、コンセプトである「Active Students」に恥じない、本学の学生の魅力を伝える

ことができた、そういうオープンキャンパスであった。(入試・広報部 前河 泰正)

### 大和田高

続いて、10月30日には「入試説明会」を実施した。入試説明会には196組の生徒・保護者が参加し、メモリアルホールで学校の概要や来年度入試の説明をした。その後さまざまな施設を案内、クラブ活動の様子を見学したり入試相談しながら、学校の雰囲気を感じていただいた。

## 大和田中 児童と保護者 楽しく参加

大和田中学の「オープンスクール」は、7月23日に開催。54組の児童と保護者が参加、吹奏楽部の演奏によるオープニ



大和田中学オープンスクールで小学生たちが理科実験で楽しんでいる様子

ング、「パソコン体験」「手作り花火体験」「ペーパークラフト(バタバタ飛行機)作り」「クラブ活動体験」などで、在校生とも交流しながら和気あいあいと楽しんだ。

続いて、10月には来年度の入試を見据えて「体験学習会」と「入試説明会」を実施した。体験学習会には37組の児童・保護者が参加し、国語・算数の過去問解説を熱心な姿勢で聞いていた。また、入試説明会には73組の児童・保護者が参加した。保護者の方々は学校の概要や入試説明をしたり、在校生が学校案内をするなど生徒の姿を見ていただいた。並行して、国語・算数・理科のプレテストを実施し、問題に懸命に取り組んでいる姿が印象的であった。(募集広報主任 鈴木 衛)

## BOOK

◆新刊 国際大・短大  
○『経営工学の実践—現場からの革新はこうする—』 経営デザイン教授 石井康夫 共著 中央経済社

○『京都府の歴史散歩(上・中・下巻)』 国際コミ教授 杉原和雄 共編著 山川出版社  
○『邪馬台国時代の丹波・丹後・但馬と大和』 国際コミ教授 杉原和雄 共著 学生社

○『現代社会と経営』 経営デザイン准教授 日野隆生 共著 ニシタ出版  
○『マーケティング戦略』 経営デザイン准教授 日野隆生 共著 学文社  
○『ソーシャルベンチャーの理論と実践』 経営デザイン准教授 日野隆生 共著 エコハ出版

○『最新マーケティング戦略の基本がよくわかる本』 国際コミ教授 宮崎哲也 著 秀和システム  
○『フリップ・コトラーのソーシャル・マーケティングがわかる本』 国際コミ教授 宮崎哲也 著 秀和システム  
○『スポーツマーケティング入門』 国際コミ教授 宮崎哲也 監修 久保田正義 著 秀和システム  
○『成功法則は知ってるけど、長続きしなかった人が読む本』(電子書籍) 国際コミ教授 宮崎哲也 著 カルチュレード

○『オタク文化』の諸相—クール・ジャパンの現状と国際化— 情報デザイン教授 山本勇次 編著 大阪国際大学国際関係研究所  
○『政治概念の歴史の展開 第四巻』 法律政策教授 古賀敬太 編著 見洋書房

○『エッセンシャル・ビジネス法務』 法律政策准教授 安保克也 共著 芦書房

○『エッセンシャル・ビジネス法務』 法律政策准教授 安保克也 共著 芦書房

○『チュウキスにまつわる17のお話たち』 滝井高校職員 橋本喬木(光央) 著 信光印刷株式会社出版部

○『エッセンシャル・ビジネス法務』 法律政策准教授 安保克也 共著 芦書房

○『エッセンシャル・ビジネス法務』 法律政策准教授 安保克也 共著 芦書房

○『エッセンシャル・ビジネス法務』 法律政策准教授 安保克也 共著 芦書房

○『エッセンシャル・ビジネス法務』 法律政策准教授 安保克也 共著 芦書房

○『エッセンシャル・ビジネス法務』 法律政策准教授 安保克也 共著 芦書房

○『エッセンシャル・ビジネス法務』 法律政策准教授 安保克也 共著 芦書房

# 就職環境改善の兆し

本学主催の企業セミナーの様子。熱心に説明に聞き入る学生たち



## 23年度の中間報告 キャリアセンター

### 支援体制 更に強化 マッチング 最新情報流す

#### 大学・短大

景気が底を脱しつつあった平成23年3月11日、東北地方を襲った大震災は今年こそ回復するであろうという期待があった新卒の就職環境も完全に元に戻ってしまった感があります。日本経済を支えた製造業の生産力が落ち、結果として多くの業種で景気回復の見通しが立つまでは採用を控える企業が多くなっています。

## 各種支援制度など説明 セミナー担任 個別面談も

### セミナー担任 個別面談も

大学・短大  
保護者懇

本学の平成23年10月末の就職内定者は大学164人、短大55人で、大学、短大とも内定者は減少していますが、就職率は大学が19.9%（昨年比マイナス0.2ポイント）、短大が18.3%（昨年比マイナス0.3ポイント）と、保護者懇談会が実施いたしました。

今年度、キャリアセンターは5月21日にキャリアセンター主催で、就職に特化したイベントとして、保護者対象就職説明会を実施いたしました。

大学・短大で9月、保護者懇談会が開催され、大学、短大ともに119組、18日に119組、24日に91組、短大は10日に39組、計249組の参加があった。大学生の保護者対象には5月21日に就職説明会が実施され、9月の懇談会では就職関連だけでなく各種支援制度の説明や事務局各部の相談ブース、セミナー担任による個別面談などで、成績や授業の出席状況など細かな面談を行った。



各ブースでは、教職員が保護者の方々からの様々な相談に応じた(枚方キャンパス)

野村證券株式会社  
大学国際コミュニケーション学部3年次生  
松尾 淑子  
わずか5日間という短い期間のインターンシップでしたが、充実した日々でした。株式債券、投資信託など証券会社の基礎を教わり、普段ではめったに行きにくい大阪証券取引所も見学することができました。

### インターンシップ体験記

#### 大学

とができました。また働くとは、挫折も経験するし、理不尽なこともたくさんあるというのを、社員の方からアドバイスをいただきました。

### 習得した事、就活に活かす

何より印象に残っていることは、自分のために働くのではなく会社のために働くということ。自分のためにならなくていいことです。私も会社のため

動を始めるにあたり非常に良い刺激を受けました。5日間で学んだこと、習得したことを存分に活かし、これから始まる就職活動を頑張りたいと思います。

また、枚方キャンパスの懇談会では、キャリアセンターに

次年度も、より内容を充実し、保護者の方々の期待に応えられる懇談会を目指します。

## お客様のニーズ獲得に全力

営業活動では、在学生に学んだコミュニケーション能力を生かして、いかにお客様

これからもお客様目線で物事を判断できるスタッフであるよう努めたいです。

## 卒業生たちは



ショールームにて。お客様目線が心がけ日々努力の山川さん

日産大阪販売KK福島店 人間科学部 人間健康科学科06年卒  
山川 裕美(旧姓 榎塚) 車の「く」の字も知らない私でしたが、キャリアセンターに足を運ぶ中、私の性格や仕事への考えを見抜いていただいていたのか、大丈夫!と日産大阪販売(株)で、営業として入社することを勧めていただきました。

営業活動では、在学生に学んだコミュニケーション能力を生かして、いかにお客様

この買物ではありませんで、その後お付き合いしていく中で対応で信頼関係を築きあげていくことが大切です。健康、福祉、レジャースポーツ、そしてインターンシップ研修をきっかけに始めたキャリアリーダーで学んだことは、自身の日常生活で役立っている上にお客様とコミュニケーションをはかる中で大変役立っています。

卒業生たちは、就職活動で学んだことを活かして、いかにお客様

卒業生たちは、就職活動で学んだことを活かして、いかにお客様

# 学園広報 Review

学園設置の各学校からは、印刷物やインターネットで様々な情報が発信されています。「学園広報 Review」では、それらの中からいくつかをご紹介します。

## 大学・短大 特設サイト

### 『東日本大震災復興支援の取り組み』

6月、大学・短大公式サイトの中に開設した。被災状況を世界中に発信し、義援金を募る学生の取り組み「Tree of The Global Mind」や、大学としての活動を一覧できるサイトで、英語版 (= 写真) も用意している。

<http://www.oiu.ac.jp/shien/>

## 滝井高校

### 『Takii Life』

フルカラーで生徒たちのいきいきとした高校生活を学校内外に伝える広報誌で年3回発行。在校生や保護者の他、中学校関係者にも好評で、創刊5年目を迎えた。10月に発行された最新刊では、滝井フェスタや修学旅行、海外研修の報告、クラブの活躍などが掲載されている。



## ひと

### 39歳でビジョンメガネ社長に就任した 安東 晃一さん

大阪国際大5期生

「グッドアイ コミュニケーション(Good Eye Communication)」のCMで知られるビジョンメガネの社長に2011年7月に就任した。大阪国際大経営情報学部5期生である。大阪・淡路の小売店からスタートした同社の35周年目で、生え抜きの社員では初めて約800人の社員のトップに立った。

大学の思い出は、パソコンとサッカー部の活動が印象に残っている。入学と同時に学生一人ひとりがノートパソコンを持つことを義務付けられた。当時、パソコンは普及し始めたころで、画面はモニターで大きく重かった。しかし、他の大学ではみられなかったため、「新しいことに挑戦する気概を感じましたね」。高校からサッカーのディフェンスをやっていた、サッカー部に入ったが、連盟に未加入で、公式の試合に出られない。2年になって認められ、4部リーグで1位の大阪学院大に勝った。「うれしかったですね。新しい大学の力を示せたと思います」。



今から500年程前、イタリアのフロレンスはヨーロッパでは最も繁栄した都市国家でした。支配者であったメディチ家の当主、「さらびやかな人」というあだ名を持つロレンツォは、大金持ちであると共に、したたかな政治家で、優れた詩

## 直言 青春はうるはし されどはかなし

栄光時計株式会社 代表取締役会長 小谷 年司

人でした。この題はその人が、お祭りの為に書いた詩の始まりです。

「若いということ、何と素晴らしいのだろう。若者たちよ、もしもハッピーになりたいのなら、そうなるんだよ。明日という日は確かではないのだからね」という一種の青春讃歌です。

学者ではなくて、私は一生、中小企業の経営者にすぎませんでしたが、大学のキャンパスをたまたま散歩して、学生たちの姿を見ると、楽しくなり、一方哀しみが心を横切ります。若いことは、いいなあ、あの年に戻られたら、もっと勉強していた

のになあ、という思いにかられます。

「俺たちに明日はない」という映画の題名がありますが、若者の殆どは、こう思って生きています。だから、明日を切望するのは、勉強やスポーツやアルバイトに集中するのも、必要性もあります。明日を切り出す行為です。明日に希望がないという気になったら、今、やらなきゃいけないことに一生懸命になるしかありません。こんなことやっていいのかわか、という疑問を忘れることです。これが学生の希望への特効薬です。

私は、この特効薬をしばしば飲みました。

教習所に通えば、運転免許は貰えます。人生の幸福の免許は、実は学校がくれるのです。厄介なこと、この免許証は年をとらないと発効しないのです。その免許を取るには、どうすれば良いでしょうか。それは、学生の間に、やらざれていると感じている事柄に真正面から立ち向かって、これをこなし、苦しみを乗り越える能力を鍛えることではないでしょうか。それが助ける手段として、成績とかテストとか資格が存在するのです。「よく学べ、よく遊べ」に学生時代は尽きます。

## GLOBAL MIND イベント写真館

【灯華祭】(10/29、30) 枚方キャンパス大学祭である灯華祭。今年のテーマ「Fever+Excite=Soul!!!」は、実行委員会の熱狂(Fever)を、来場者の興奮(Excite)と合わせて心(Soul)から楽しめるものとなるようにとの願いを込めた。写真は「ステージイベント」の一コマ。



【文化祭】(9/25) 「A Drop in the Ocean ~1人の力がすべてを繋ぐ~」をテーマに、劇やコーラスで成果を発表。合同コーラス(写真)では、一人ひとりの声が合わさり、素晴らしいハーモニーを奏でた。



【優花祭】(10/22、23) 守口キャンパス大学祭。「絆」をテーマに、多くの人々との繋がりが生まれるよう、様々なイベントを仕掛けた。写真は、優花祭ステージ初参加となる吹奏楽部。

【奥田メモリアルフェスティバル 「おしゃべりなコンサート」 ~演奏の匠がやってくる~ (11/11) 吉本興業の「ザ・ぼんち」の漫才と司会進行、交響楽団の一流の演奏者によるトークと演奏、滝井高校吹奏楽部との合同演奏で約700人が楽しいひと時を過ごした。来場者から寄せられた東日本大震災・台風12号被災地支援募金180,831円は日本赤十字社等へ送金された。



【グローバル祭】(9/11) 秋晴れの気持ちのいい日に、模擬店・緑日・展示・舞台と様々な催しに、生徒も教員も普段とはまた違った表情で取り組んだ文化祭。



【作品展】(12/4) 毎年、レベルの高さに目をみはる作品展。園児たちがそれぞれの興味や関心をもとに感性を働かせて完成させた。そのすばらしい創造力で作り上げられた絵や立体作品で、保健室や廊下は埋め尽くされた。

●本紙に記載の学年、肩書き等はすべて情報収集時のもので、発行時期と異なることがあります。ご了承願います。  
●郵送不要の方、住所等の変更、本紙に関するご意見、ご感想等は総務課までご連絡下さい。電子メールもご利用下さい。

各学校の最新ニュースは公式サイトでご覧いただけます。 大阪国際学園 検索